△マダニにご注意ください△

春から秋にかけての季節は、マダニの活動が特に活発になります!

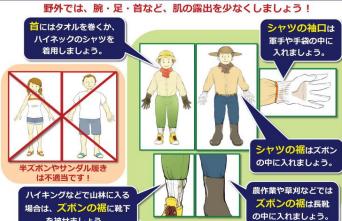
病原体を保有するマダニに咬まれることで、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ライム病などの感染症にかかることがあります。山や草むらでの野外活動の際は、下の4つを参考にして、マダニに咬まれないようにしましょう。

(これらの予防方法はツツガムシに咬まれて感染するつつが虫病の予防にも有効です。)

1. マダニの生息場所



2. マダニから身を守る服装



3. マダニから身を守る方法



ダニ類の多くは、長時間(10日間以上のこともある)吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置(マダニの除去やい。

マダニに咬まれたら、 数週間程度は体調の変化 に注意し、発熱等の症状 が認められた場合は、医 療機関で診察を受けて下 さい。

マダニに対する忌避剤 (虫よけ剤)が、2013年から 新たに認可されました。 現在は、ディート、イカリジンの 2種類の有効成分の忌避剤が市販 されています。

忌避剤の使用でマダニの付着数は減少 しますが、マダニの付着を完全に防ぐ わけではありません。忌避剤を過信せず、 様々な防護手段と組み合わせて対策 を取ってください。



出典 国立感染症研究所昆虫医科学部

- ・ダニに咬まれたときは無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で 処置(ダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。
- ・SFTSウイルスに感染した犬や猫に咬まれたり、血液などの体液に直接触れたりすることで人に感染することも報告されています。



ダニ媒介感染症に関する情報は 福岡県ホームページをご覧ください

